

事業概要

令和3年度の事業活動は、基本的にこれまでと同様、事業計画を基に、国民の健康の保持及びアルコール飲料に起因する疾病の予防並びにこれらと調和のとれた酒類産業の健全な発展に寄与するため、酒類業界等からの賛助会費・委託金・助成金、基本財産の運用益、出版物等の頒布収入等を活動資金として、また関係各機関と連絡、協議を行いながら、普及・啓発事業、助成金交付事業、調査研究委託事業及び酒類の広告審査事業等の各事業を実施した。

2 総務関係事業報告

1. 会員概況（令和4年3月31日現在）

(1) 正会員	26名
浅見 敏彦	公益社団法人アルコール健康医学協会副理事長
新井 智男	日本洋酒酒造組合専務理事
市田 浩恩	公益社団法人アルコール健康医学協会常務理事
伊東 貞	税理士法人さくらホールディングス代表社員・税理士
伊藤 廣幸	一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会顧問
上田 茂	公益財団法人日本医療機能評価機構専務理事
梅田 勝	東京工科大学副学長
江國 清志	全国卸売酒販組合中央会専務理事
岡南 啓司	日本蒸留酒酒造組合専務理事
岡本 佳郎	日本酒造組合中央会副会長
鹿島 晴雄	慶應義塾大学医学部客員教授
岸 英彦	日本洋酒輸入協会専務理事
岸野 博行	ビール酒造組合専務理事
行天 良雄	医事評論家
黄金井陽介	全国地ビール醸造者協議会副会長
雑喉 良祐	一般社団法人チェリー・ブロッサム代表理事
田中 慶司	公益社団法人アルコール健康医学協会理事長
田中 政信	公益社団法人日本産婦人科医会名誉会員
野崎 貞彦	日本大学医学部名誉教授
福井 次矢	東京医科大学茨城医療センター病院長
堀井 茂男	公益社団法人日本精神科病院協会常務理事
三木 和平	公益社団法人日本精神神経科診療所協会会長
南 砂	読売新聞東京本社 常務取締役調査研究本部長
森 幹雄	公益社団法人アルコール健康医学協会前常務理事
吉田 精孝	全国小売酒販組合中央会会長
渡辺 哲	東海大学医学部客員教授

(2) 賛助会員 団体会員 15者

(酒類業界等11者、製薬業界1者、病院2者、その他1者)

ビール酒造組合
日本酒造組合中央会
日本洋酒酒造組合
日本蒸留酒酒造組合
全国卸売酒販組合中央会
全国小売酒販組合中央会
日本洋酒輸入協会
日本ワイナリー協会
全国地ビール醸造者協議会
(一社)日本フランチャイズチェーン協会
ペルノ・リカール・ジャパン株式会社
大塚製薬株式会社
医療法人(社団)新淡路病院
医療法人せのがわ 瀬野川病院
(一社)チェリーブロッサム

2. 理事会の開催について

(第1回通常理事会) 令和3年5月24日(月) (定款第35条書面決議の特例)

於：公益社団法人アルコール健康医学協会会議室

ア. 理事 20名(理事全員から回答)

イ. 議題 (1) 企画委員会 企画委員の選任について

(2) 令和2年度事業報告書(案)及び同収支決算(案)について

(第1回臨時理事会) 令和3年9月8日(水) (定款第35条書面決議の特例)

於：公益社団法人アルコール健康医学協会会議室

ア. 理事 20名(理事全員から回答)

イ. 議題 (1) 正会員の入会について

(2) 臨時社員総会の開催について

(3) 理事長、副理事長並びに常務理事の職務の執行状況について

(第2回臨時理事会) 令和3年11月24日(水) (定款第35条書面決議の特例)

於：公益社団法人アルコール健康医学協会会議室

ア. 理事 20名(理事全員から回答)

イ. 議題 (1) 正会員の入会について

(第2回通常理事会) 令和4年3月23日(水) 於：日比谷松本楼

ア. 出席理事 11名

イ. 議題 (1) 令和4年度事業計画書(案)及び同収支予算(案)について

(2) 令和4年度定時社員総会の開催・招集について

ウ. 報告 理事長、副理事長並びに常務理事の職務の執行状況について

3. 社員総会の開催について

(定時社員総会) 令和3年6月16日(水) 於: 日比谷松本楼

ア. 出席社員 26名(委任状提出者を含む)

イ. 議題 (1) 令和2年度事業報告書(案)及び令和2年度財務諸表(案)について

(臨時社員総会) 令和3年10月4日(金) 於: 公益社団法人アルコール健康医学協会会議室

ア. 出席社員 26名(委任状提出者を含む)

イ. 議題 (1) 役員を選任について

4. 企画委員会の開催状況について

(1) 構成員 企画委員11名(令和4年3月31日現在)

(任期: 令和2年11月8日~令和4年11月7日)

伊藤 廣幸	一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会 顧問
亀井 慶承	日本酒造組合中央会 理事
重盛 憲司	洗足メンタルクリニック 院長
高石 昌弘	東京医科大学 客員教授
田中 潤	サントリースピリッツ株式会社 事業企画部 グローバルARS 担当部長
中板 育美	武蔵野大学 教授
並木 茂夫	NPO 法人青少年健康力サポートラボ・ジャパン 副理事長
西原 香織	アサヒビール株式会社コーポレートコミュニケーション部担当課長
堀田美枝子	全国養護教諭連絡協議会 顧問
松本 浩明	宝酒造株式会社 常務執行役員東京事務所長
水口 尚人	全国小売酒販組合中央会 事務局長
他に、	専門委員2名

(2) 開催日時及び議題

本年度の企画委員会は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)感染拡大防止の観点から、集会しての会議の開催は取りやめたが、情報誌NEWS&REPORTSの企画案の検討・原稿内容の確認、その他議題について、企画委員、専門委員へ電子メールにて意見集約を行い決定した。

《令和3年》

5月27日(木)

1. 機関誌「お酒と健康」表紙デザイン決定
2. 企画委員会 企画委員の交代の報告

6月2日(水)

1. 情報誌「NEWS&REPORTS Vol.27 No.1」原稿確認
2. 令和2年度事業報告書(案)・同財務諸表(案)の報告
3. その他

7月30日（金）

1. 情報誌「NEWS&REPORTS Vol.27 No.2」企画案の検討

10月14日（木）

1. 情報誌「NEWS&REPORTS Vol.27 No.2」原稿確認
2. 令和3年度助成金申請受付状況の報告

12月24日（金）

1. 情報誌「NEWS&REPORTS Vol.27 No.3」企画案の検討
2. 令和3年度助成金追加申請受付状況の報告

《令和4年》

3月8日（火）

1. 情報誌「NEWS&REPORTS Vol.27 No.3」原稿確認
2. 令和4年度事業計画書案並びに同収支予算書(案)について
3. その他

3 業務関係事業報告

令和3年度においては、賛助会費等 38,140 千円、出版物等頒布収入 577 千円、基本財産運用益 1,183 千円、助成金 950 千円、委託金 7,501 千円等、計 47,402 千円をもって、次の事業を実施した。

【公1 普及・啓発事業】

1. 普及・啓発資料の作成・発行事業

アルコール飲料に関する知識及び適正な飲酒習慣に関する思想の普及並びに 20 歳未満の者の飲酒防止に関する啓発を内容とする機関誌、情報誌やリーフレット等を編集・作成した。

- ・ 機関誌「お酒と健康」第 41 号を 7 千 5 百部発行（6 月）
- ・ 情報誌「NEWS&REPORTS」Vol.27 No.1～No.3 を計 2 万 1 千 9 百部発行（7 月、11 月、3 月）
- ・ 小学生向け飲酒防止啓発資料「考えてみよう！お酒のこと」を新規に作成し、1 万部発行（10 月）

2. 自治体・学会・大会等に対する資料情報提供事業

- ① 都道府県、市区町村、保健所、精神保健福祉センター、国税局、税務署、酒類業界及び関係団体等へ機関誌、情報誌、講演会記録集等配付・頒布した。

- ② 当協会の活動方針と方向性を一にする内容をもつ学会・大会及び学校におけるアルコール健康教育に対し、先方からの求めに応じて、情報誌、小冊子、リーフレット等を提供した。
- ③ 都道府県、市区町村、保健所、精神保健福祉センター等に対し出版物の値引き頒布及び送料無料キャンペーンを行ったところ 14 件（計 6,704 部）の申込みがあった。

各種大会等に対する資料の提供（主なもの）

開催年月日	提供先	部数
【令和3年】		
10月3日	道民健康づくり日（北海道）	1,000部
11月9日	第11回飲酒と健康に関する講演会	450部

20歳未満の者の飲酒防止向け資料提供（主なもの）

開催年月日	提供先	部数
《令和3年》		
【通年】	NPO 法人青少年健康力サポートラボ・ジャパン 浦安市薬剤師会より資料提供依頼	450部 1,000部

3. インターネットによる情報提供

お酒と健康（飲酒の基礎知識、適正飲酒の10か条、飲酒運転防止、20歳未満の者の飲酒防止等）、アルコールと健康に関する最新の医学情報、お酒と文化等の情報をホームページで広く公開した。なお、令和3年度中のアクセス件数は、30,057件であった。

4. 書籍の頒布事業

当協会作成・発行の情報誌、リーフレット等や書籍（シリーズ「酒の文化」、ハンドブック「アルコールと健康」、適正飲酒の手引き「お酒と健康ライフ」等）を低廉な価格で、一般消費者、地方公共団体等に販売した。

5. 後援事業

当協会の活動方針・目的に合致している内容をもつ学会・大会等のイベントに対して、先方からの要請に応じ、後援団体としての当協会の名義使用を認め、当該イベントを側面からバックアップした。

令和3年度は次の5件の後援等依頼があった。

- ・20歳未満飲酒防止・飲酒運転撲滅全国統一キャンペーン（全国小売酒販組合中央会）
- ・令和3年度「青少年の非行・被害防止全国協調月間」（内閣府）
- ・第31回「肝臓週間」（（公財）ウイルス肝炎研究財団）

- ・第 68 回精神保健福祉普及運動及び第 68 回全国精神保健福祉全国大会（厚生労働省）
- ・全国生活習慣病予防月間 2022（（一社）日本生活習慣病予防協会）

6. 取材・問合せ等への対応事業

新聞・TV・雑誌等のメディア関係者や自治体、企業等から適正飲酒、飲酒運転・20歳未満の者の飲酒防止等に関する問合せや掲載許可など数十件あった。

また、当協会ホームページへのリンクやホームページに掲載している適正飲酒の10か条、血中濃度と酔いの状態などの図表等について、新聞・TV・雑誌等のメディア関係者や自治体、企業等から新聞、雑誌やホームページ、広報誌、職員研修用資料などに使用掲載することについての許可依頼が10件程度あった。

7. 講演会・セミナー等事業

講演会の開催

第11回 飲酒と健康に関する講演会を令和3年11月9日（火）星陵会館で開催し、当日録画したものを令和3年11月26日～12月3日までの間、WEBで視聴できるようにした。

また、令和4年4月に、講演会内容を取りまとめた記録集を3,000部作成し、関係者に配付した。記録集については、当協会のホームページにも掲載。

第11回 飲酒と健康に関する講演会

主 催 者	公益社団法人アルコール健康医学協会
開催場所	星陵会館ホール：令和3年11月9日（金） 13：00～16：30
日 時	We b 視 聴 : 令和3年11月26日（金）～12月3日（金）
参 加 者	来場者56名、WEB視聴者約200名
後 援	厚生労働省、国税庁、公益財団法人日本学校保健会 健康日本21推進全国連絡協議会
講演内容	<p>1. 「健康日本21（第二次）とアルコール健康障害対策の推進について」 厚生労働省 健康局健康課 女性の健康推進室長 松村 漠志</p> <p>2. 「酒類の広告・表示について」 マーケティングコンサルタント (元公益社団法人日本広告審査機構(JARO) 参与) 宍戸 旦</p> <p>3. 「総合病院で展開する減酒治療の実践 ～啓発・内科連携・自助グループ協働～」 手稲溪仁会病院 精神保健科部長 白坂知彦</p> <p>4. 「アルコールと肝臓病の臨床課題と新たな取り組み」 順天堂大学大学院医学研究科 消化器内科学教授 池嶋健一</p>

8. 助成事業

当協会の活動方針とその方向性を一にする団体やその団体の実施するイベント等に対して酒類業中央団体連絡協議会の協力を得て、助成金の交付を行うことにより当協会のPR・活動の充実を図った。令和3年度は以下の(1)から(5)の5件。

(1) 第56回日本アルコール・アディクション医学会学術総会への助成

主催者	第56回日本アルコール・アディクション医学会学術総会 会長 廣中直行（東京都医学総合研究所 客員研究所）
開催日時	令和3年12月17日（金）～19日（日）
会場	三重県総合文化センター（現地開催とオンライン開催を兼ねた形態で開催）
参加者	1,018名（現地参加者237名、オンライン参加者781名）
講演等	<p>テーマ 最新医学を共有した連携の発展：基礎・臨床・多職種・多機関・そして地域から世界へ～コロナ危機を乗り越えて</p> <p>シンポジウム テーマ：日本におけるハームリダクションのアディクション予防・治療への応用 座長：齋藤利和、宮田久嗣 シンポジスト：高野歩、湯本洋介、白坂知彦、成瀬暢也、宮田久嗣</p> <p>シンポジウム テーマ：精神科、内科の病院、診療所での飲酒量低減治療の実態についての検討ーナルメフェン使用も含めてー 座長：堀江義則、宮田久嗣 シンポジスト：堀江義則、吉本尚、加賀谷有行、角南隆史、倉持穰</p>

(2) 第43回日本アルコール関連問題学会への助成

主催者	第43回日本アルコール関連問題学会 会長 猪野亜朗（泊ファミリークリニック 副院長）
開催日時	令和3年12月17日（金）～19日（日）
会場	三重県総合文化センター（現地開催とオンライン開催を兼ねた形態で開催）
参加者	1,018名（現地参加者237名、オンライン参加者781名）
講演等	<p>テーマ 最新医学を共有した連携の発展：基礎・臨床・多職種・多機関・そして地域から世界へ～コロナ危機を乗り越えて</p> <p>大会長講演 テーマ：アルコールは脳に何をするか 座長：白坂知信 講師：廣中直行 テーマ：連携をいかに発展させるか 座長：奥田宏 講師：猪野亜朗</p>

	<p>シンポジウム テーマ：飲酒運転 座長：樋口 進 シンポジスト：大河原昌夫、野村由里子、松阪剛士、 中井誠二、吉本尚、伊藤満</p> <p>シンポジウム テーマ：職場の変化とアルコール問題 座長：酒井秀精 シンポジスト：廣尚典、古田さとり、高崎正子、瀧村剛、 廣田久佳</p>
--	--

(3) 第5回関東甲信越アルコール関連問題学会新潟大会への助成

主 催 者	第5回関東甲信越アルコール関連問題学会新潟大会 大会長 若穂 徹 (医療法人恵松会 河渡病院 院長)
開催日時	令和4年2月27日(日)
会 場	医療法人恵松会 河渡病院 (オンライン配信)
参加者	188名
講演等	<p>大会のテーマは「依存症 誤解の解消と偏見の打破」</p> <p>大会長講演「心の健康とアルコール」 演者：若穂 徹 (河渡病院 院長) 座長：松下 幸生 (久里浜医療センター 副院長)</p> <p>特別講演「断酒は心臓を癒す」 演者：和泉 徹 (新潟南病院 統括顧問) 座長：若穂 徹 (河渡病院 院長)</p> <p>シンポジウム「依存症 誤解の解消と偏見の打破」 シンポジスト：島田久幸、村山裕子、中村 僚、小海優花 座長：佐久間 寛之</p>

(4) 学校等におけるアルコール健康教育教材作成事業への助成

一般社団法人東京都学校薬剤師会が大学等高等教育機関において講演を行う際のアルコール健康教育に係る教材用CDを900枚作成し、会員を対象に配布した。

(5) 知識と体験から学ぶ20歳未満飲酒防止教育への助成

NPO 法人青少年健康力サポートラボ・ジャパンから講師を派遣し中学校で「知識と体験から学ぶ20歳未満飲酒防止教育」の講演を行った。本年度は計9か所で講演し、受講者は計3,788名。

【公2 学術事業】

アルコールと健康に関する最新の医学情報の収集

平成17年度より、ビール酒造組合から委託を受け実施している事業であり、疫学・予防、基礎研究（病理・生理・薬理）、臨床・治療（内科系）に加えて、令和元年度から臨床・治療（精神科系）についても収集している。令和3年度においては、世界中の主要な医学雑誌や文献等からアルコールと健康に関する最新の医学情報を215件収集した。

また、令和2年度上半期の論文要旨96件については令和3年6月に、令和2年度下半期の論文要旨126件については令和4年1月に当協会ホームページに公開した。

医学情報収集に関する委託事業

区分	
契約日	令和3年4月1日
契約期間	1年毎
学術情報収集のための学術調査先	下記参照

アルコールと健康に関する最新の医学情報収集のための調査及びその整理

区分	担当者
疫学・予防に関する調査	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 教授 三浦 克之 先生
基礎研究（病理・生理・薬理）に関する調査	元高崎健康福祉大学薬学部薬学科 教授 八田 慎一 先生
臨床・治療（内科系）に関する調査	慶應義塾大学 名誉教授 加藤 眞三 先生
臨床・治療（精神科系）に関する調査	独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター 副院長 松下 幸生 先生

【公3 広告審査事業】

1. 令和3年度における酒類の広告・宣伝に関する消費者等からの苦情は0件、相談は62件（ノンアルコール飲料に関するものを含む）であった。
2. 令和3年度の酒類の広告・宣伝に関するテレビ・新聞・雑誌等の業界策定自主基準の遵守状況等について審査委員会及び同実務者委員会をそれぞれ2回開催するとともにその結果を関係者に報告した。また、ノンアルコール飲料についても審査した。

(1)審査委員会及び同実務者委員会の委員（令和4年3月31日現在）

・審査委員会（委員長は井嶋一友氏）

井嶋 一友	弁護士
大木 美智子	一般財団法人消費科学センター代表理事
高石 昌弘	東京医科大学客員教授
田中 慶司	公益社団法人アルコール健康医学協会理事長
田中 秀一	国際医療福祉大学医療マネジメント学科学科長

・実務者委員会（委員長は宍戸 旦氏）

相松 和生	ビール酒造組合審議役
亀井 慶承	日本酒造組合中央会理事
宍戸 旦	マーケティングコンサルタント
田中 潤	日本洋酒酒造組合アルコール委員会委員長
手島麻記子	食文化研究家
並木 茂夫	NPO 法人青少年健康力サポートラボ・ジャパン副理事長
松本 浩明	日本蒸留酒酒造組合社会環境小委員会委員
市田 浩恩	公益社団法人アルコール健康医学協会常務理事

(2)委員会の開催状況

【審査委員会】

(第47回) 令和3年1月28日～2月22日（書面審査）

議題 改選に伴う広告審査委員会委員長の選出（互選）について

(第48回) 令和3年7月1日（月）14：00～16：30 於：KKRホテル東京

- 議題
1. 経過報告（苦情・問合せの状況）
 2. 第37回実務者委員会（6/4～6/16 オンライン及び書面にて開催）の報告
 3. 酒類広告の審査
 4. その他

(第49回) 令和3年9月28日～10月6日（書面審査）

議題 実務者委員会委員の選定について

(第50回) 令和4年3月16日（水）15：00～17：05 於：KKRホテル東京

- 議題
1. 経過報告（苦情・問合せの状況）
 2. 第38回実務者委員会の報告
 3. 酒類広告の審査
 4. ノンアルコール飲料のTVCFの審査
 5. その他

【実務者委員会】

(第37回) 令和3年6月4日～6月16日 資料送付による審査の実施

1. 経過報告（苦情・問い合わせの状況）
2. 酒類広告の審査
3. その他

(第38回) 令和3年12月9日（木）13：55～16：35 於：アルコール健康医学協会会議室

1. 経過報告（苦情・問い合わせの状況）
2. 酒類広告の審査
3. ノンアルコール飲料の TVCF の審査
4. その他

(3) 審査結果の概要の公開

審査委員会の審査結果の概要について第48回は令和3年10月に、第50回は令和4年5月に酒類の広告審査委員会のホームページに公開した。

なお、第47回は広告審査委員会委員長の選出、第49回は実務者委員の選任に伴う書面審査のみ。